



当日を迎えました。 像がつかず、ドキドキワクワクしながら でどのようなことを行っているのかは想 理署の一日署長を務めてまいりました! す。6月24日に、関東森林管理局群馬森林管 今まで森林管理署の方々のお話をお伺 したことはありましたが、実際の現場 こんにちは一みどりの女神の飯塚帆南で

速車に乗り込み造林現場へ。雨の中作業 業務についてレクチャーを受けた後、早 で今日も一日頑張りましょう!」とお話 介されてドキッとしましたが、「安全第一 れました。宿利署長から一言訓示を、と紹 させていただきました。 に取り組んでいらした方々が出迎えてく 宿利一弥署長から森林管理署の役割と

## 管理の苦労と大切さ 現場だからこそ感じられる森林

形の特徴から、より効率的に植付できる 一付をお手伝いしました。コンテナ苗は その後は、早速スギのコンテナ苗での

国有林を管理する「森林管理署

の一日署長に

することの大変さを感じるとともに、改 私も実際に植付やカバー付けを体験させ ビックリしました!苗木を植えた後に この現場では数名で、一日1 ということでとても期待されています とができました。 めて森を育み守ることの大切さを学ぶこ 行われていることを知って、森林を管理 ていただき、一つ一つの作業が手作業で 守るプラスチックの筒を設置しました。 は、「くわんたい」という鹿等の獣害から から2,000本植えているとお聞きし 500本

ています。今後このシステムを通して、 業の活性化に寄与することが期待され 方法で、これにより地域の林業・木材産 いる人もいると感じていました。しか の木を使っていいのかと抵抗を持って との大切さは知っていますが、たくさん の女神の活動を通じ、誰でも森を育むこ いくことをみどりの女神として願って より日本全体に国産材利用が広まって に協定を結び、木材を安定的に供給する し、このシステム販売は、需要者と事前 売について学びました。今までのみどり 次に国有林材の安定供給システム販

まれ。2016年ミス日本み 平成5年7月26日、群馬県生 どりの女神として活躍中!

《帆南



より素敵な社会へ 地域の木材を使って

実現できるのではと感じました。 仕組みが増えていくと、より素敵な社会が の確保と同時に、地域内で経済が循環する 500人の小さな村ですが、私がお伺い 材も使われています。上野村は人口約1 材等を地元で加工したペレットで、国有林 施設に足を運びました。燃料は地域の間伐 した。地域の木材を使うことでエネルギー た日も全国各地から視察にいらしていま 後に、群馬県上野村のバイオマス発電 

がら務めさせていただきました。 べてが新鮮で、緊張感の中にも楽しみな 感もありましたが、見るもの知るものす 何万ねもの森林の管理を担うことの緊張 とうございました。 今 回 お世話になった皆さん、どうもありが 日署長を経験させていただき

13